



学校だより
第23号

椋の木

令和3年3月18日(木)
久留米市立御井小学校
校長 江島 陽子

祝 卒業

3月17日(水)に、無事、令和2年度御井小学校、第135回卒業式を実施することができ、55名の卒業生を送りました。卒業生のみなさん、保護者の皆さま、おめでとうございます。

時間短縮のために、例年とは違う形での次第となりましたが、子どもたちは、胸を張り、晴れやかな表情で式に臨んでくれました。地域の皆さまには、6年間、子どもたちをあたたく見守っていただき、本当にありがとうございました。

本年度は、密をさけるために、例年全員でひな壇に並んで行っていた『別れのことば』をとりやめたので、『卒業証書授与』の際に、一人一言ずつ卒業に際しての思いを言ってもらいました。

時間の制約もあり、多くを話してもらうことはできませんでしたが、短くとも自分で考えて語られたその言葉は、確かに一步を踏み出そうとしている今の、その子ならではの一言でした。いくつかを紹介します。

式次第

- 1 開式のことば
- 2 卒業証書授与
・卒業生のことば
- 3 校長式辞
- 4 閉式のことば



- サッカー(テニス/陸上/野球...)をがんばって、~大会に出場します。(活躍します。/キャプテンになります。/プロをめざします。)
- 英語(歴史/数学/理科/英語...)の勉強をしっかりと、よい成績をとります。
- いろいろな役割をになって、人の役に立ちます。
- 家族の人に、今までありがとう。これからもよろしくお願いします。
- 将来は、警察官になって町の平和を守ります。

子どもたちの未来は、大きく開けています。たくさん夢を描いて、実現におかって動き始める・努力し続ける中学生生活であってほしいと願います。心から応援しています。

感謝の気持ちを込めて..

6年生は、家庭科の学習で、家族への感謝の気持ちをこめて刺し子のふきんを作りました。子どもたちは、先生にたずね、やりなおしをしながら、一針一針、根気強く仕上げました。

卒業式前の週末にお家に持ち帰っています。子どもたちの、言葉ではなかなか言えない思いも伝わったことと思います。

